

平成 26 年 4 月 20 日公開 IT パスポート試験 分析資料

株式会社ウイネット
情報処理教育研究室

弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、公開された試験の出題内容に関するご意見を聴取させていただき、情報処理教育研究室で整理及び分析を行いました。今後のご参考として、4 月 20 日に公開された試験（以下、H26 春と表記）の分析をご報告させていただきます。

1. 分野別出題数

分野		H26 春	H25 秋	H25 春	H24 秋	H24 春	H23 秋	
1	ストラテジ系	小問	30	27	30	30	29	31
		中間	5	9	5	6	7	4
		合計	35	36	35	36	36	35
2	マネジメント系	小問	20	22	21	22	21	21
		中間	5	3	3	2	4	4
		合計	25	25	24	24	25	25
3	テクノロジー系	小問	34	35	33	32	34	36
		中間	6	4	8	8	5	4
		合計	40	39	41	40	39	40

- CBT 方式（H24 年春）から、小問は問 1～問 84 の 84 問、中間（中間 A～D）は問 85～問 100 の 16 問で構成されています。分野別の出題数は、100 問出題中、ストラテジ系 35 問程度、マネジメント系 25 問程度、テクノロジー系 40 問程度です。
- 中間を構成する問題数は、前回と比較して、マネジメント系とテクノロジー系が 2 問多く、ストラテジ系が 4 問少なくなっています。

2. 大分類別出題数

大分類		H26 春	H25 秋	H25 春	H24 秋	H24 春	H23 秋
1	企業と法務	17	14	16	17	17	18
2	経営戦略	9	13	12	13	9	11
3	システム戦略	9	9	7	6	10	6
4	開発技術	8	8	9	10	10	9
5	プロジェクトマネジメント	8	8	8	6	8	6
6	サービスマネジメント	9	9	7	8	7	10
7	基礎理論	4	6	7	6	7	5
8	コンピュータシステム	10	9	10	13	8	10
9	技術要素	26	24	24	21	24	25
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回と比較して、2 問以上出題数が増えた大分類は、“企業と法務（+3 問）”、“技術要素（+2 問）”でした。
- 前回と比較して、2 問以上出題数が減った大分類は、“経営戦略（-4 問）”、“基礎理論（-2 問）”でした。

3. 中分類別出題数

中分類		H26 春	H25 秋	H25 春	H24 秋	H24 春	H23 秋
1	企業活動	8	8	9	9	11	10
2	法務	9	6	7	8	6	8
3	経営戦略マネジメント	5	8	9	7	5	6
4	技術戦略マネジメント	0	1	1	0	0	0
5	ビジネスインダストリ	4	4	2	6	4	5
6	システム戦略	6	6	5	5	5	4
7	システム企画	3	3	2	1	5	2
8	システム開発技術	7	7	8	9	9	9
9	ソフトウェア開発管理技術	1	1	1	1	1	0
10	プロジェクトマネジメント	8	8	8	6	8	6
11	サービスマネジメント	6	6	4	5	4	6
12	システム監査	3	3	3	3	3	4
13	基礎理論	3	5	4	5	3	3
14	アルゴリズムとプログラミング	1	1	3	1	4	2
15	コンピュータ構成要素	2	3	2	4	3	3
16	システム構成要素	2	1	3	3	2	4
17	ソフトウェア	5	4	4	5	3	3
18	ハードウェア	1	1	1	1	0	0
19	ヒューマンインタフェース	2	0	1	0	1	1
20	マルチメディア	2	2	2	4	4	2
21	データベース	4	2	3	3	4	5
22	ネットワーク	6	8	7	6	7	5
23	セキュリティ	12	12	11	8	8	12
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回と比較して、2 問以上出題数が増えた中分類は、“法務（+3 問）”、“ヒューマンインタフェース（+2 問）”、“データベース（+2 問）”でした。
- 前回と比較して、2 問以上出題数が減った中分類は、“経営戦略マネジメント（-3 問）”、“基礎理論（-2 問）”、“ネットワーク（-2 問）”でした。

4. 中間 A～D（問 85～問 100）

	テーマ	分野	難易度	コメント
中間 A	売上増と費用減の施策の検討	ストラテジ系 1 問 マネジメント系 1 問 テクノロジー系 2 問	普通	問 85 は“やや難”でしたが、問 86 と問 88 の計算は“やや易”でした。
中間 B	製品の製造と販売の計画	ストラテジ系 4 問	普通	問 89 と問 90 はグラフ、問 91 と問 92 は会計の基本により解けた問題でした。
中間 C	稟議システム	マネジメント系 1 問 テクノロジー系 3 問	やや易	問題文を正確に読み、内容を理解できれば、難なく解けた問題でした。
中間 D	システム統合時のデータ移行	マネジメント系 3 問 テクノロジー系 1 問	やや難	問 98 と問 98 の計算は“普通”、問 99 と問 100 の計算は“やや難”でした。

5. 初めて出題された用語と今後の対策

初めて出題された用語として、BPM（問 22）、広域イーサネット（問 52）、クリップアート（問 70）、リスクアセスメント（問 72）、HDMI（問 73）などがあります。
このように、新用語は毎回出題されますが、総合で 60%、各分野で 30%以上得点すれば合格ですので、まずはシラバスの用語を徹底的にマスタし、過去問題及び公開問題で実践力を身に付け、類似問題は 100%正解できるようにする対策が重要になります。